

# 参 考 資 料

注) 本資料は，参考資料である。

工事番号

令和 7 年度 上水第 2 6 号

工 事 名

令 7-単 錦町配水管布設工事に伴う

既設管撤去及び舗装復旧工事

塩竈市上下水道部上水道課

令7-単 錦町配水管布設工事に伴う  
既設管撤去及び舗装復旧工事

数量計算書

塩竈市上下水道部上水道課

## 管工関連

既設管撤去工事(数量調書)

土工関連

[illegible]

## 土工数量計算書

配管土工No. 1

工種番号	00	工種名称	既設管撤去 (CIP φ 100)	ルート番号	ルート名称	H=	1.00 m	L=	395.700 m
層種別	層	計 算 式							
舗装版切断 (As t=15cm以下)		数量 = 土工延長 × 切断回数	土工延長	×	0.000	+	395.700	×	1
舗装版取壊し (As t= 10 cm)		数量 = 掘削幅 × 土工延長	0.600	×	2	+	395.700	=	395.700
舗装殻運搬 (As)		数量 = 厚み × 舗装版取壊し面積	319.726	×	0.808	×	395.700	掘削幅の計算 [(0.6m × 120.7m)+(0.9m275.0m)] ÷ 395.7m=0.808m	
舗装殻処分 (As)		数量 = 舗装殻運搬量	31.973	m3	=	0.100	×	319.726	
普通土掘削 (機械)		数量 = 掘削幅 × 厚み × 土工延長 - 埋設管体積	31.973	m3	=	31.973			
残土処分(普) (機械)		数量 = 掘削土量(機械) - 管回埋戻し(発生土)	283.127	m3	=	( 0.808 × 0.900 × 395.700 ) - ( 0.122 × π / 4 × 395.700 )			
管回埋戻し (発生土)		数量 = 掘削幅 × 厚み × 土工延長	91.292	m3	=	283.127	-	191.835	
路盤工 (再生砕石 t= 35 cm)		数量 = 掘削幅 × 土工延長	191.835	m3	=	0.808 × 0.600 × 395.700			
舗装復旧 (仮 t= 5 cm)		数量 = 掘削幅 × 土工延長	319.726	m2	=	0.808 × 395.700			
軽量鋪失板 H= 1.5m		数量 = 掘削幅 × 土工延長	319.726	m2	=	0.808 × 395.700			
		数量 = 掘削幅 × 土工延長	275.115	m	=	275.115			



鋪裝本復旧

[illegible]

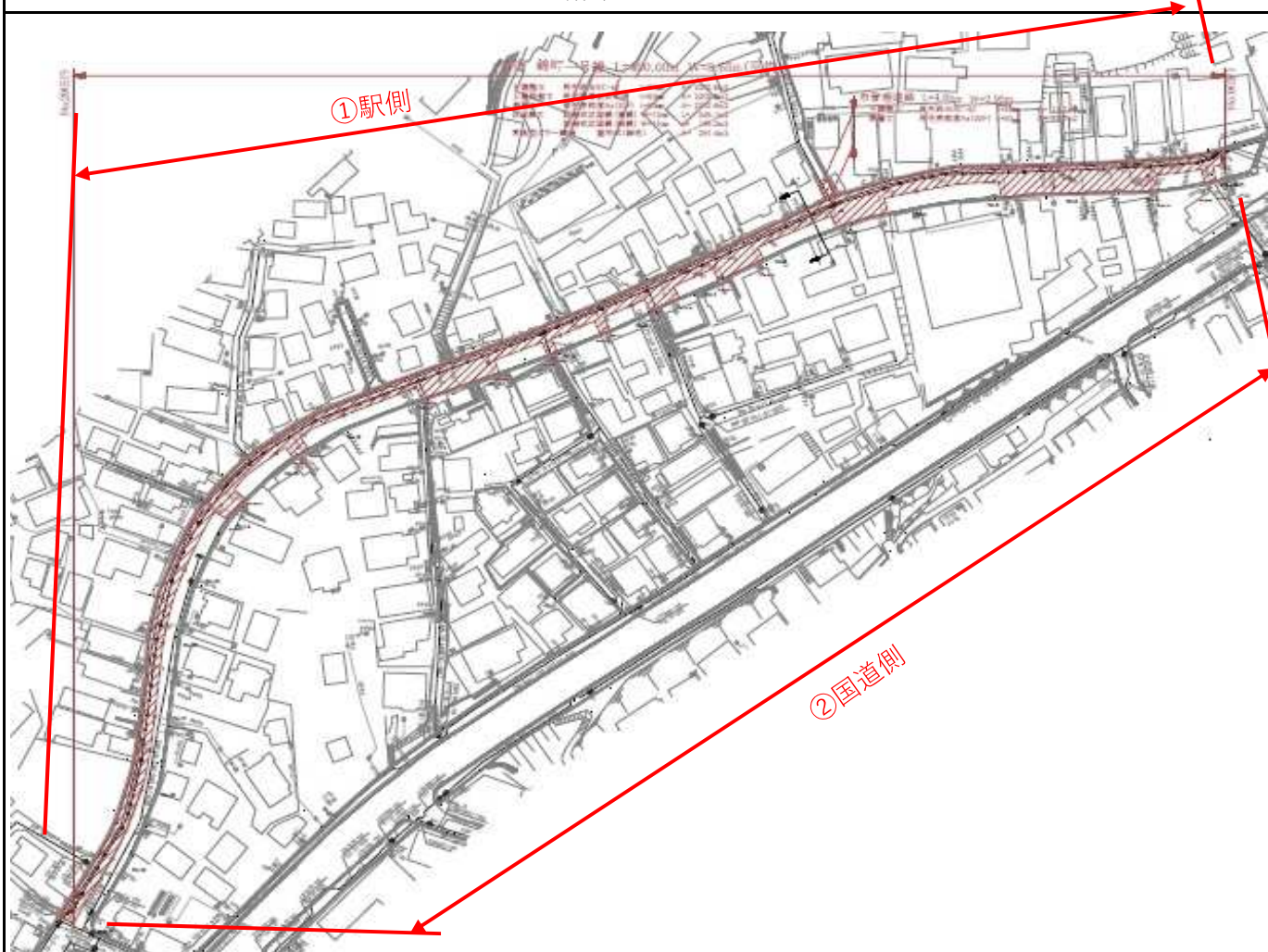
# 一 般 計 算 書

種 別 : 舗装本復旧

ブロック : 車道部

区 分 : 錦町一号線

細別 / 規格	算 式	数 量
舗装版切断 As舗装版 t=15cm以下	車道 t=10cm $3.720 + 3.720 + 409.000 = 416.440 \text{ m}$ 給水横断部 $3.640 \times 16 = 58.240 \text{ m}$ 控除 $= 0.000 \text{ m}$ $474.680 \text{ m}$	470 m
舗装版取壊し As舗装版 t=15cm以下	$t=10\text{cm}$ (舗装面積求積表より) $= 1,730.730 \text{ m}^2$ $t=5\text{cm}$ (舗装面積求積表より) $= 26.710 \text{ m}^2$ 控除 $= 0.000 \text{ m}^2$ $1,757.440 \text{ m}^2$	1,760 m <sup>2</sup>
Asガラ運搬・処分	舗装版取壊しより $1730.730 \times 0.100 = 173.073 \text{ m}^3$ $26.710 \times 0.050 = 1.336 \text{ m}^3$ 控除(R6 仮復旧) $-448.430 \times 0.050 = -22.422 \text{ m}^3$ $151.987 \text{ m}^3$	152 m <sup>3</sup>
(車道部) 不陸整正 補足材(RC-40) t=2cm	舗装版取壊しより $= 1,730.730 \text{ m}^2$ $= 26.710 \text{ m}^2$ $1,757.440 \text{ m}^2$	1,760 m <sup>2</sup>
(車道部) 上層路盤 As安定処理 t=5cm	不陸整正より $= 1,730.730 \text{ m}^2$ $1,730.730 \text{ m}^2$	1,730 m <sup>2</sup>
(車道部) 表層 再生密粒度As t=5cm	不陸整正より $= 1,757.440 \text{ m}^2$ $1,757.440 \text{ m}^2$	1,760 m <sup>2</sup>
熔融式区画線	白色・実線・W=15cm (数量計算書より) $= 459.900 \text{ m}$	460 m
	白色・破線・W=15cm (数量計算書より) $= 198.450 \text{ m}$	200 m
常温型カラー舗装	数量計算書より $= 247.581 \text{ m}^2$ $247.581 \text{ m}^2$	248 m <sup>2</sup>



工種	計算式			計算値
区画線工	溶融式区画線 白色・実線・W=15cm (舗装面積求積表より)			
外側線	L=	411.30 + 36.50	= 447.800 m	459.90 m
		駅側 国道側		
中央線	L=	12.10 (現況)	= 12.100 m	
			Σ = 459.900 m	
中央線	溶融式区画線 白色・破線・W=15cm (舗装面積求積表より)			
	L=	409.00 - 12.10 ÷ 2	= 198.450 m	198.45 m
			Σ = 198.450 m	

○常温型カラー舗装

駅側塗布面積

A= 242.1061 m2

国道側塗布面積

A= 5.475 m2

合計塗布面積

A= 247.5811 m2